

「小児急性疾患学講座」 設置要請の背景

・福山市および府中市を含む周辺(人口約60万人)における小児科医師の不足により、小児二次救急医療体制(4病院による輪番当番制)に多くの空白を生じている。 (とくに平成23年以降)

・こうした小児医療体制の破綻を速やかに修復し、同時に効果的・効率的な医師の供給システムや高次診療体制の構築に向けた実践的な研究を行うことが必要とされている。

→ 広島県／福山市からの寄付による寄付講座開設の要請

福山市の小児救急医療体制の現状

初期救急(軽症)

入院の必要がない軽症患者が対象

○福山夜間小児診療所(福山小児科医会が担当)

二次救急(中等症～重症)

入院が必要な重症患者が対象(初期救急医療機関からの紹介などで受診)

○小児は入院設備のある4病院が交代で診療(二次輪番制)

輪番を担当する4病院(H25年2月現在)の現状

国立病院機構福山医療センター	10人(NICU担当医4名を含む)
日本鋼管福山病院	4人
福山市民病院	3人
中国中央病院	3人
総数	20人

福山市周辺の小児科勤務医数は**全国平均に比べ人口10万人当たり2人少なく**、特に小児救急医療に携わる小児科医師が不足している。

(医師の高齢化の問題も拍車)

このため輪番空白日には隣接する二次保健医療圏の医療機関にも搬送せざるを得ないなど、**小児二次救急輪番体制が一部破綻している**状況となっている。

萬木章 准教授(予定) 略歴

平成 3年 4月 岡山大学医学部卒業 同小児科入局
平成19年 9月 岡山大学医学部・歯学部附属病院 講師(小児科)
平成20年 2月 岡山労災病院小児科副部長
平成23年 4月 倉敷成人病センター小児科部長 現在に至る。

- ・日本小児科学会専門医
 - ・日本アレルギー学会専門医(小児科)
 - ・日本アレルギー学会指導医(小児科)
 - ・PALS(小児二次救命処置)プロバイダー
 - ・NCPR(新生児蘇生法)プロバイダー
-

大野直幹 講師(予定) 略歴

平成 9年 4月 愛媛大学医学部卒業 岡山大学小児科入局
平成19年 7月 岡山大学医学部・歯学部附属病院 小児科助教
平成23年 5月 カナダトロント小児病院循環器科 留学
平成25年 2月 同帰国。現在岡山大学病院小児科特任助教として勤務

- ・日本小児科学会専門医
 - ・日本小児循環器学会暫定指導医
 - ・PALS(小児二次救命処置)プロバイダー
 - ・その他小児救命救急・集中治療の各学会に所属
-

1. 岡山大学における活動

(2) 研究・診療活動

・福山・府中地区における小児救急医療体制に関する研究

→全国の同じ環境にある地区の小児救急医療体制に関する調査

・特異的経口耐性誘導(SOTI)の実施

→「除去」という従来の「消極的」治療から「摂取」による「積極的」治療の試み

・急速法: rush SOTI

重症例を対象に入院で急速に増量して短期間(数週間)で耐性獲得

・緩徐法: slow SOTI

軽症例を対象に外来でゆっくりと耐性獲得(数か月～1年)



課題として 急速法では
増量中・後にも重篤な症状が出ることもあるため
専門施設により研究的に行われている段階

(岡山大学倫理委員会承認申請予定)

(研究・診療活動) 続き

- ・福山地区における「学校給食での食物アレルギー対応の現状と問題点」の調査
- ・小児救急受診の実態・意識調査

具体的には・・

行政と連携し、学校給食の現場における実態を調査する



→現状の把握に基づき、研究成果を市民・学校関係者や救急隊などに対する

「食物アレルギー対策講習会」萬木医師

→小児救命救急について市民・学校関係者や救急隊に対して

「小児救命救急講習会」大野医師

などとしてフィードバック

・これらの研究/診療活動は市民・行政側の要望とも合致

平成25年2月6日付
毎日新聞

平成25年2月4日付
朝日新聞

2. 広島県/福山市における具体的な活動

- ①医療提供体制の課題と解決策
- ②小児救急医療を担う医師を養成
- ③地域住民・担当職員への普及・啓発

(1) 当該4病院において

- A. 福山市基幹4病院における2次輪番担当医として参加
- B. 同4病院における一般小児科勤務(当直夜勤医の翌日業務の補佐など)
- C. 同4病院における小児救急体制の整備
- D. 同4病院における専門を生かした診療(アレルギー、循環器など)
- E. 同4病院における専門を生かした研修医指導
- F. その他

(2) 病院外=広島県/福山市地域における活動(主なもの)

- A. 福山市およびその周辺地区における小児救急・時間外受診に関する「市民講座」の開催 年2回を予定
- B. 同地区における医療関係者に対する小児救急に関連する講習会の実施
小児科医/研修医対象、看護師/保健師などコメディカルを対象 など
- C. 学校/給食関係者に対する「食物アレルギー対策」講習会や、学校関係者/救急隊などに対する「小児救命救急法」講習会などを定期的実施する

「小児急性疾患学講座」で実施予定の教育・診療・研究

広島県・福山市の

年度	医療提供体制の課題と解決策
H25	二次輪番の維持
H26	高次診療拠点病院の 設定 ↓ 周辺地区との連携 (岡山県井原・笠岡地 区との広域連携も)
H27	
H28	
H29	



県境を越えた地域連携、すなわち岡山県の地域医療にも貢献しうる

「小児急性疾患学講座」まとめ

1. 岡山大学における活動(週2. 5日)

①教育

- ・医学部生・大学院生・研修医への講義・実習等
- ・小児アレルギー専門医の養成・指導

②診療

- ・アレルギー学会教育施設認定取得
- ・経口負荷試験の標準化と実施症例数の増加
- ・特異的経口耐性誘導(SOTI)の実施

③研究

- ・特異的経口耐性誘導方法の検討
- ・「学校給食での食物アレルギー対応の現状と問題点」調査とフィードバック

2. 広島県/福山市における活動(週2. 5日)

①医療提供体制の課題と解決策の調査研究

②小児救急医療を担う医師を養成

③地域住民への普及・啓発

④小児救急担当医師として参加
